

介助量を数値化する意味とは？

～移乗2名介助から歩く練習ができるまでになった事例を通して～

特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
作業療法士 中尾亮介

**FIM(機能的自立度評価)
を導入しました。**

FIMとは？

目的

- ▶ **介助量**を数値化する
- ▶ **自立支援**につながる視点を持てる

内容

- ▶ 運動13項目、認知5項目の18項目からなる。
- ▶ 1項目7点満点(最高126点、最低18点)。



どうしてFIMを始めたのか？

当園では様々な取り組み
(学習、栄養ケア、介護力、機能訓練...)をしている。



お客様の変化はわかるが、**客観的**にあらわすものは？



栄養ケアだと**アルブミン値**(血中タンパク濃度)がある...



生活全般の**介助量**がわかる**FIM**で
取り組みの成果を見れるのでは。

導入へ

どうしてFIMを始めたのか？

特養でFIMを導入している施設は**とても少ない...**

基準値を設定し、新たな**根拠づくり**に繋がれば。



運動項目の内容 13項目



分類	内容	
セルフケア	食事、整容、清拭、更衣(上)、更衣(下)、 トイレ動作	6個
移乗	ベッド及び車椅子、トイレ、浴槽	3個
排泄コントロール	排尿、排便	2個
移動	車椅子もしくは歩行、階段	2個

認知項目の内容 5項目



分類	内容
コミュニケーション	理解、表出 2個
社会的認知	社会的交流、問題解決、記憶 3個

点数の基準

介助者	点数	程度
×	7点	完全自立
	6点	装具等使用、時間かかるが自立
○	5点	見守りが必要 ※認知項目は極わずかに介助(10%)
	4点	わずかに介助(25%)
	3点	中等度介助(50%)
	2点	おおよそ介助(75%)
	1点	全介助

A氏 入居時(H28. 12)の様子



A氏 入居時のFIM 運動項目

運動項目	入居時(H28. 12)
食事	5
整容	5
清拭	1
更衣 上半身	2
更衣 下半身	1
トイレ動作	1
排尿管理	2
排便管理	4
ベッド・車椅子等移乗	1
トイレ移乗	1
浴槽・シャワー移乗	1
移動	1
階段	1
運動項目 合計	26

7点...自立

6点...道具等で自立

5点...見守りのみ。

4点...わずかに介助

3点...中等度介助

2点...おおよそ介助

1点...全介助

A氏 入居時のFIM 認知項目

認知項目	入居時(H28. 12)
理解	5
表出	5
社会的交流	5
問題解決	5
記憶	5
合計	25
運動・認知合計	51

7点...自立
6点...道具等で自立
5点...極わずかに介助
4点...わずかに介助
3点...中等度介助
2点...おおよそ介助
1点...全介助

要介護度:4

実施したこと

- ・介護技術研修での実践。



- ・機能訓練として、起きる際動き出しを待つ。
- ・端座位となってお辞儀運動を行う。

- ・はつらつコーラスで会長。
- ・はじまりとおわりの挨拶。



A氏 FIMの変化 運動項目

運動項目	H28. 12	H30. 3
食事	5	5
整容	5	5
清拭	1	1
更衣 上半身	2	3 改善
更衣 下半身	1	1
トイレ動作	1	2 改善
排尿管理	2	2
排便管理	4	6 改善
ベッド・車椅子・椅子移乗	1	5 改善
トイレ移乗	1	5 改善
浴槽・シャワー移乗	1	1
移動	1	5 改善
階段	1	1
運動項目 合計	26	42

7点...自立
 6点...道具等で自立
 5点...見守りのみ。
 4点...わずかに介助
 3点...中等度介助
 2点...おおよそ介助
 1点...全介助

A氏 FIMの変化 認知項目

認知項目	H28. 12	H30. 3
理解	5	6 改善
表出	5	6 改善
社会的交流	5	7 改善
問題解決	5	5
記憶	5	5
合計	25	29
運動・認知合計	51	70

7点...自立
6点...道具等で自立
5点...見守りのみ。
4点...わずかに介助
3点...中等度介助
2点...おおよそ介助
1点...全介助

要介護度：4から3へ(H29. 6)

9か月後...(H29. 9)



10か月後...(H29. 10)



主な改善項目

	入居時(H28.12)	現在(H30.3)
更衣(上半身)	「着せてください」と介助を希望される。	両袖通し、引きおろしができる。
排便管理	パット交換	便意を訴え、トイレで排泄。
移乗	2名で介助	見守り ※自宅へ出かけるため、普通乗用車に娘様の介助で歩けるように！
移動	介助	行事への参加、居室へ戻る際に自分で車いすを漕がれる。
社会的交流	周りに迷惑をかけることなく参加	拍手したり、他の方を褒めたりなど盛り上げようとふるまう。

何故A氏は改善したのか？



主に運動項目が改善

自宅での独居生活⇒骨折による入院⇒治療し入居へ。

改善しやすい状態ではあった...？

何故A氏は改善したのか？

しかしめまいがある...**寝返りしただけでも嘔吐**されていた。

- ・日頃のケア
- ・委員会活動
- ・ほぼすべてのサークル活動を希望
- ・会長としての役割
- ・ご家族による週1回の面会、数か月に1回自宅へ帰る...



**日頃のケアに加え
委員会、サークル参加、役割、家族との関わりが大切**

介護度別にみたFIMの点数 (H29. 12現在)

要介護度 (人数)	合計 (128点満点)	運動 (91点満点)	認知 (35点満点)
介護1 (1名)	104	73	31
介護2 (3名)	83	64	19
介護3 (28名)	73	53	20
介護4 (18名)	47	32	15
介護5 (19名)	31	17	13

要介護度2～要介護度3は開きが10点

要介護度4～要介護度5は開きが16点

要介護度3～要介護度4は開きが**26点**←他よりも大きい！

要介護度3と4の方のFIM平均点を比較

運動項目	要介護度3 (28名)	要介護度4 (18名)
食事	5	4
整容	4	3
清拭	4	1
更衣 上半身	4	3
更衣 下半身	3	1
トイレ動作	4	1
排尿管理	4	1
排便管理	6	4
ベッド・車椅子・椅子移乗	5	3
トイレ移乗	5	3
浴槽・シャワー移乗	4	2
移動	4	3
階段	1	1
運動項目 合計	53	30

7点...自立
6点...道具等で自立
5点...見守りのみ。
4点...わずかに介助
3点...中等度介助
2点...おおよそ介助
1点...全介助

要介護度3と4の方のFIM平均点を比較

認知項目	要介護度3	要介護度4
理解	4	4
表出	4	3
社会的交流	4	3
問題解決	4	3
記憶	3	3
合計	19	16
運動・認知合計	72	46

7点...自立

6点...道具等で自立

5点...極わずかに
介助

4点...わずかに介助

3点...中等度介助

2点...おおよそ介助

1点...全介助

トイレ動作に含まれる要素

トイレ動作は・・・

「下衣を下げ、お尻等を拭き、下衣を上げる」こと。

- ・立位が保持できる
- ・立つ気持ちになっている
- ・手すりに掴まりながら下衣を上げ下げできる など

その分、**機能の維持につながる**のでは？



ケアに活かしたい！が、課題はたくさん...

- ①職員がFIMについて理解する。
- ②トイレ動作がどこまでできれば4点なのか判断できる。
- ③ケアワーカーの基準で点数がつけられるようになる。

まとめ 介助量を数値化する意味とは？

①ケアの指標になる

- 傾向がみえる(要介護度別、ユニット別...).
- 今回は3つの運動項目の介助量の違いがわかった。
- ケアの方法の検討ができる。

まとめ 介助量を数値化する意味とは？

②身体機能の 維持・向上につながる

- ・トイレ動作、清拭、排尿管理が大切。
- ・介助量が軽減できるよう取り組む。

ご清聴ありがとうございました。

